



はなさとより

第 136 号 28・5・1
TEL 35-5500

「皆様、よろしくお願ひします」



田中 みどり

この四月より、老健「はなさと」の施設長に就任しました。

早速、「はなさと」が春の高山祭の地域のため、町内会の子ども神輿や二つの神社の獅子舞の方々のご協力の下、入所の各フロアへ来てくださり、利用者の皆さんと共に祭り気分を楽しませていただきました。利用者の中にはお捻りを準備されている方もいらつしやう、はなさとでは『より在宅へ近い所』ということを実感しました。

私は、現在丹生川町在住で飛騨大鍾乳洞よりも少し遠くから通ってきていますが、冬場になると通勤時間が倍かかる為、春まで冬眠させてもらいたいと何度思ったことかわかりません。

また春の年波には逆らえず、ご利用者の方や職員の名前もなかなか覚えられず、先週まで通所リハビリ

を利用されていた方が、今週は入所フロアにみえたりするので目が点になり、『在宅強化型』のからくりを翻弄されております。私自身が一日も早く「はなさと」に慣れ、自分らしく働けるようにしたいと思います。

十年近く前、病院で共に働いた介護職員の皆さんが、各フロアのリーダー的存在となっていて、イキイキと働いている姿は感激でした。また、それより若いリハビリや介護福祉士の皆さんが多くいて、若いということはそれだけで『財産』です。利用者の皆さん、共にこのエネルギーを吸収しましょう！

さて、長としての私に与えられた役割は、「はなさと」の健全な運営です。縁あつて集まった利用者の皆様、働く職員の満足度を高め、ここで過ごした時期を少しでも良いものとして心に残して頂ける様、これまでの施設長が築いてきた事を参考にし、地域に愛される施設として維持することに尽力したいと思います。

介護保険分野はこの十年近くの間にもどんどん変化していつていきます。一つ一つ学びながら活かしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、ご利用者皆様、職員の皆様、お気づきのことは遠慮なく声にして頂きたいと思ひ

ます。皆で『今』を、より良いものに少しずつ変化させていきましょう。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

春祭り 子供みこし・獅子舞・御巡幸



春の高山祭を間近に控えた四月十日（日）、花里町二丁目町内会こども会の子供みこしの皆さんが来所してくださりました。「ワッショイ！ワッショイ！」と子供たちの元気なかけ声が施設内に大きく響きました。

また、四月十五日（金）には花里八幡神社の獅子舞と飛騨天満宮の御巡幸が来所され、一階から三階までの各フロアで勇壮な舞いを披露してくださいました。

入所者の皆さんは、祭り気分を味わうことができ笑顔でいっぱいになり、楽しい時間を過ごすことができました。とてもいい思い出になったことと思ひます。

花里二丁目子ども会、花里八幡神社、飛騨天満宮の関係者を含めた皆さん、楽しませていただきありがとうございます。

発行担当 事務室



日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

高山赤十字介護老人保健施設はなさと